

科研費が半世紀ぶりに 変わります！

基本方針／科研費改革の見通し

●「科研費審査システム改革2018」の概要 ●審査区分の見直し

科研費

科研費を知ろう！

STEP 1

公募が開始されるまで

- 研究種目を知る
- 審査のしくみを知る
- スケジュールを知る
- 応募書類・公募要領を知る

STEP 2

公募が開始されてから

- 公募要領を熟読する
- 応募資格を確認する
- 科研費電子申請システムのID・パスワードを入手（確認）する

STEP 3

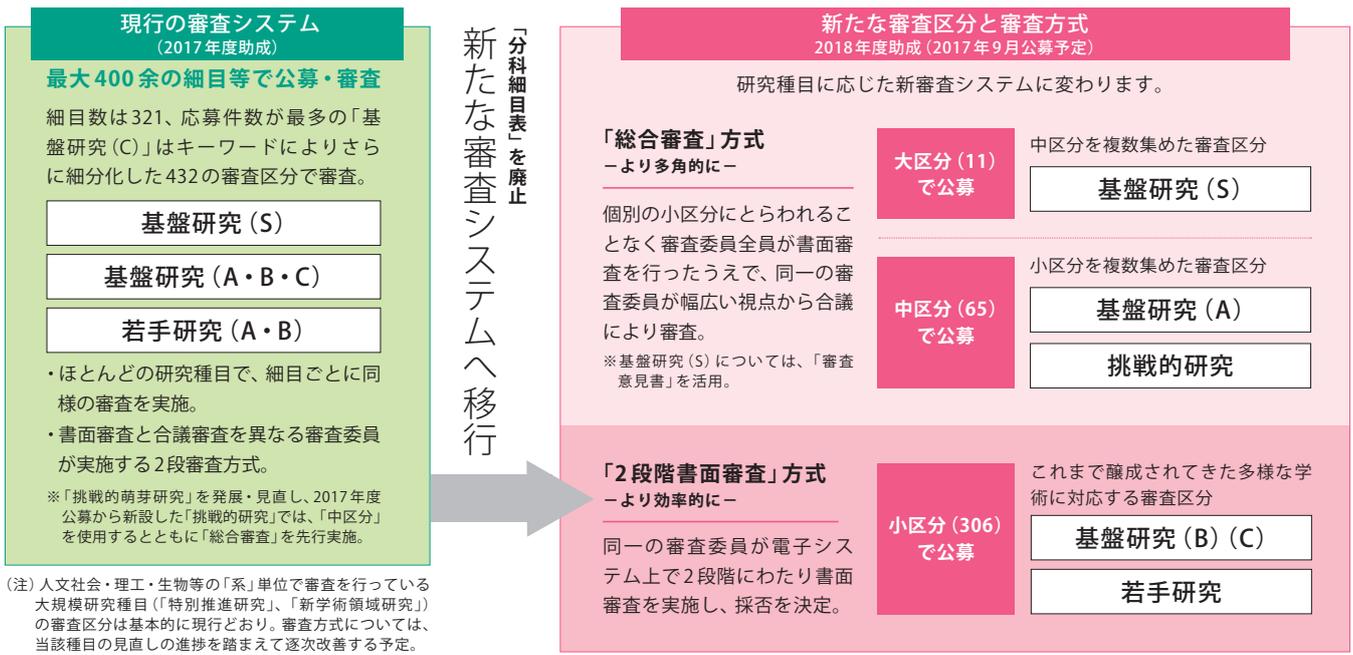
応募書類を作成する
リサーチオフィスを活用する

科研費とは、研究者の自由な
発想に基づく研究を助成する
国の唯一の競争的資金です。

2017.7

● 科研費の公募・審査の在り方を抜本的に見直し、多様かつ独創的な学術研究を振興する

図5



審査区分の見直し

応募者は、「小区分一覧表」、「中区分・大区分一覧表」の内容の例などを確認の上、応募する審査区分を選択することになります。

図6

● 審査区分表(小区分一覧)抜粋

小区分は審査区分の基本単位であり、基盤研究(B、C)、若手研究の審査区分です。

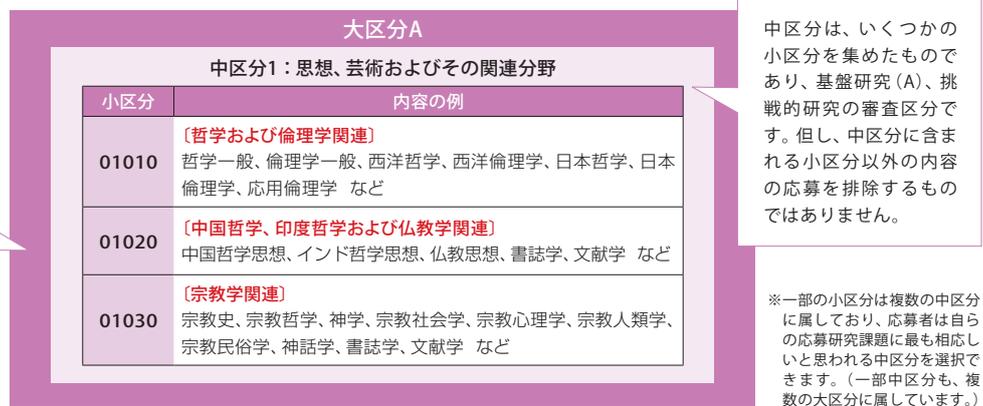
小区分には内容の例が付してありますが、応募者が小区分の内容を理解する助けとするためのもので、内容の例に掲げられていない内容の応募を排除するものではありません。

小区分	内容の例	対応する中・大区分	
		中区分	大区分
01010	〔哲学および倫理学関連〕 哲学一般、倫理学一般、西洋哲学、西洋倫理学、日本哲学、日本倫理学、応用倫理学 など	1	A
01020	〔中国哲学、印度哲学および仏教学関連〕 中国哲学思想、インド哲学思想、仏教思想、書誌学、文献学 など	1	A
01030	〔宗教学関連〕 宗教史、宗教哲学、神学、宗教社会学、宗教心理学、宗教人類学、宗教民俗学、神話学、書誌学、文献学 など	1	A

● 審査区分表(中区分、大区分一覧)抜粋

大区分は、いくつかの中区分を集めたものであり、基盤研究(S)の審査区分です。但し、大区分に含まれる中区分以外の内容の応募を排除するものではありません。

「審査区分表」の詳細は、文部科学省HPに掲載されています。
http://www.mext.go.jp/component/a_menu/science/detail/_icsFiles/afiedfile/2016/12/22/1380669_01_1.pdf



2018

科研費が半世紀ぶりに 変わります!

2018年度の公募より、科研費のしくみが大きく変わります。

掲げられた基本方針に沿って、科研費の研究種目が組み替えられ、審査システムも大きく変わります。

基本 方針

今、日本は将来にわたって卓越した研究成果を持続的に生み出し続け、国際的な存在感を保持できるかどうか問われています。

こうした現状を踏まえ、文部科学省の科学技術・学術審議会では、研究者の自由な発想に基づく研究(学術研究)を「国力の源泉」と位置づけ、学術研究への現代的要請として「挑戦性」「総合性」「融合性」「国際性」の4つを挙げるとともに、科研費についても、抜本的な改革を進めるべき旨が確認されました(2014年5月26日)。

図3

挑戦性

研究者の知を基盤にして独創的な探究力により新たな知の開拓に挑戦すること

融合性

異分野の研究者や国内外の様々な関係者との連携・協働によって、新たな学問領域を生み出すこと

総合性

学術研究の多様性を重視し、伝統的に体系化された学問分野の専門知識を前提としつつも、細分化された知を俯瞰し総合的な観点から捉えること

国際性

自然科学のみならず人文学・社会科学を含め分野を問わず、世界の学術コミュニティにおける議論や検証を通じて研究を相対化することにより、世界に通用する卓越性を獲得したり新しい研究枠組みを提唱したりして、世界に貢献すること

科研費改革の 見通し



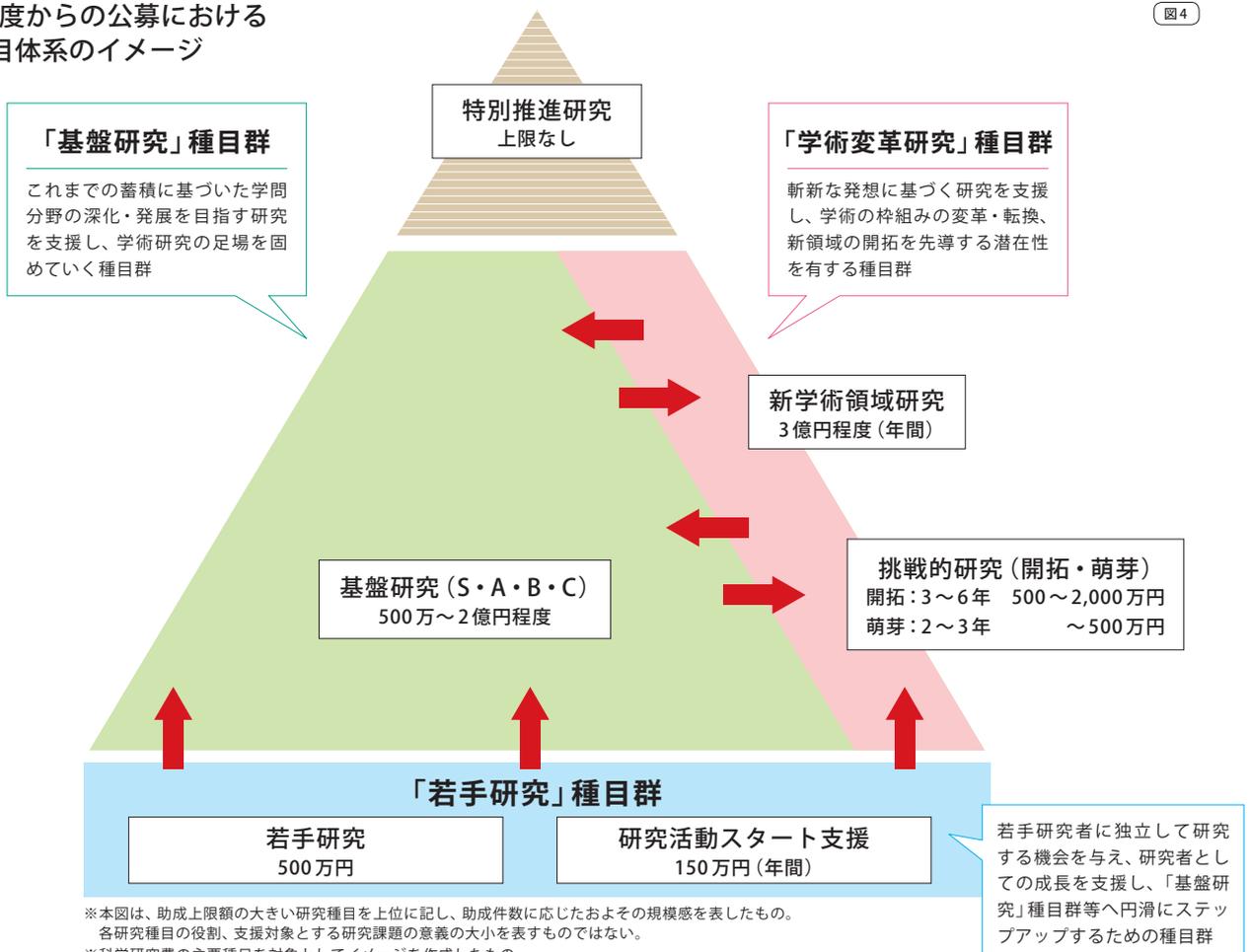
2017年度には、挑戦的萌芽研究が発展的に見直しされ、挑戦的研究(萌芽)と挑戦的研究(開拓)が創設されました。また、これら種目では、2018年度より本格的に導入される新しい審査システムによる審査が先行実施されました。

2018年度には、基盤研究や若手研究においても新しい「審査区分」「審査方式」による審査に移行され、

改革の画期的な時をむかえます。さらに、若手研究(若手研究(A)は基盤研究に統合、若手研究(B)は若手研究に名称変更および応募要件を博士号取得後8年未満の者に変更(但し、博士号未取得者については、当面(3年程度)は応募を認める経過措置を設ける予定))と特別推進研究(同一研究者の複数受給を不可)についても研究種目の見直しがおこなわれます。

2018年度からの公募における 研究種目体系のイメージ

図4



科研費を知ろう!

自身の研究キャリアを積みたい! さらに探求したいテーマが見つかった! 後輩を育
今さら聞けない科研費の応募プロセスを一挙に解説します!!

STEP 1

公募が開始されるまで

POINT 01

研究種目を 知る

次の観点を整理した上で、研究種目を1つひとつ見ていきましょう。

- 1 研究対象**
自身の研究者としてのキャリアも踏まえ、取り組みたい研究目的や方向性はどのようなものなのか
- 2 研究組織**
個人・あるいはグループの研究者で実施する研究なのか
- 3 研究期間**
何年間にわたって実施する研究計画なのか
- 4 研究経費**
研究目的の達成のために必要な研究費はどのくらいか

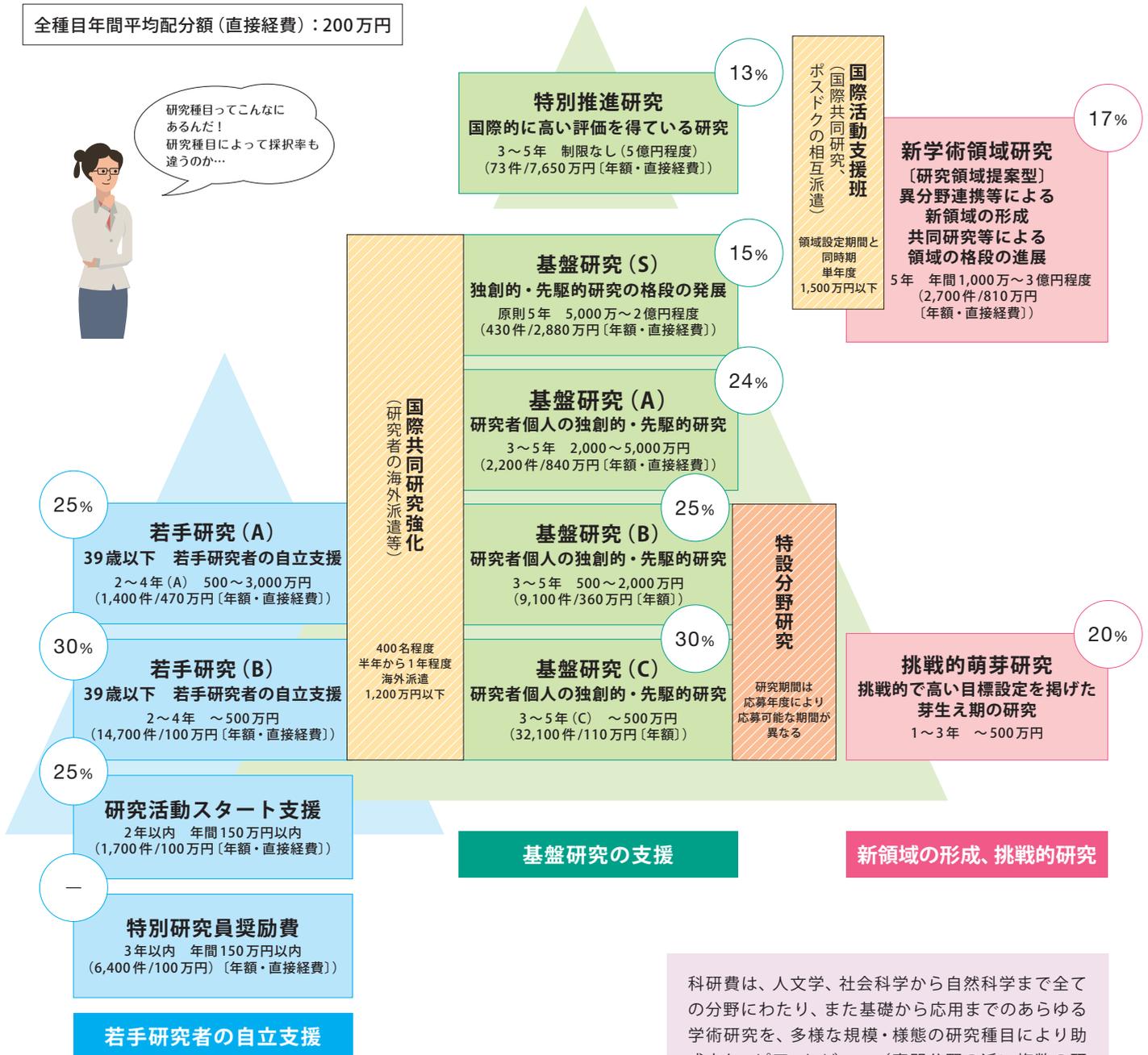
研究種目体系 (2016年度参考)

図1

全種目年間平均配分額 (直接経費) : 200万円



研究種目ってこんなにあるんだ!
研究種目によって採択率も違うのか...



科研費は、人文学、社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、また基礎から応用までのあらゆる学術研究を、多様な規模・様態の研究種目により助成され、ピア・レビュー (専門分野の近い複数の研究者による審査) を経て、独創的・先駆的な研究課題が選定されます。

※ 各研究種目において括弧内の数値は、採択件数 (新規+継続) と平均配分額 (総数および直接経費) [概数]、丸囲み内の数値は、採択率を示している

育成したい！ 研究する動機はさまざま。

POINT 02
審査のしくみを
知る

審査は研究種目ごとに実施されるわけではありません。応募する研究者が立案した研究計画に照らして選択した審査区分に基づいて審査が実施されます。ピア・レビュー（専門分野の近い複数の研究者による審査）であるからこそ、的確な審査区分を選択できるかどうかは採否の分け目と言っても過言ではありません。

1 「日本学術振興会HP」に掲載されている2017年度に使用された最大400余の審査区分がどのように分類されているのを知りましょう*。

*2018年度より審査区分の分類が大きく変わります。概要は表面で、詳細は次の文部科学省HPに掲載されている「審査区分表」も併せて確認しましょう。
http://www.mext.go.jp/component/a_menu/science/detail/_icsFiles/fieldfile/2016/12/22/1380669_01_1.pdf



https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/03_keikaku/data/h29/h29_koubo_08.pdf

2 過去の科研費の採択実績などの情報が一元化されている「科学研究費助成事業データベース」でフリーワード検索機能を使って、関心のある研究テーマやキーワードを自由に入れてみましょう。どのような研究テーマやキーワードがどのような審査区分で採択されているのか参考になります。



<https://kaken.nii.ac.jp/ja/index/>

POINT 03
スケジュールを
知る

応募件数の大半を占める基盤研究、若手研究、挑戦的研究等は前年秋に募集がおこなわれる一方、大学等に就職し初めて科研費を応募する研究者向けの研究活動スタート支援は当年春に募集がおこなわれます。研究種目ごとに異なる審査区分、審査方式により審査が実施され採択課題が選定されます。ヒアリング審査をおこなう研究種目は相対的に審査期間が長

くなり、研究種目ごとに採択（交付内定）時期も異なります。

私が応募したい若手研究(B)は秋に応募があるんだ！
公募の開始時期から逆算して計画的に準備を進めることにしよう



■ 公募から交付決定までのスケジュール（2017年度参考 一部種目を抜粋）

図2

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月		
新学術領域研究・新規の研究領域	公募	→	受付	書面審査/合議・ヒアリング審査							交付申請	交付内定	→	交付決定								
公募・審査は文部科学省が実施																						
新学術領域研究・継続の研究領域（公募研究）	公募	→	受付	書面審査/合議審査				交付内定	→	交付申請	→	交付決定										
基盤研究（S）	公募	→	受付	第1段（書面）審査/ 第2段（合議・ヒアリング）審査					交付申請	交付内定	→	交付決定										
基盤研究（A・B・C） （一般・海外学術調査） 若手研究（A・B）	公募	→	受付	第1段（書面）審査/ 第2段（合議）審査				交付内定	→	交付申請	→	交付決定										
基盤研究（B・C） （特設分野研究） 挑戦的研究 （開拓・萌芽）	公募	→	受付	事前の選考/書面審査/合議審査							交付申請	交付内定	→	交付決定								
研究活動 スタート支援						公募	→	受付	書面審査/ 合議審査			交付申請	交付内定	→	交付決定							
国際共同研究 加速基金・ 国際共同研究強化											公募	→	受付	書面審査/合議審査				交付内定	交付申請▶交付内定の翌年度末まで随時 交付決定▶交付申請後、随時			

POINT 04
応募書類・
公募要領を
知る

研究種目ごとに応募書類の内容は異なります。研究種目と審査区分によっては1人の審査委員が目を通す応募書類は100件を超えることもあり、1件の応募書類に割ける時間は決して多くありません。十数ページの内容で審査委員を惹きつける文章や図表を用いて、様々な工夫を散りばめてこそ採択への第一歩となります。

まずは、過年度の公募要領はもとより、当該研究種目の応募書類や作成記入要領等を実際にダウンロードし、ドラフトの作成から始めてみましょう。

**2017年度参考
公募情報**



特別推進研究、基盤研究 (S・A・B・C)、
挑戦的研究 (開拓・萌芽)、若手研究 (A・B)

https://www.jsp.go.jp/j-grantsinaid/03_keikaku/download.html

新学術領域研究、特別研究促進費

http://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/hojyo/boshu/1376435.htm

研究活動スタート支援

https://www.jsp.go.jp/j-grantsinaid/22_startup_support/download.html

**STEP
2**

公募が開始されてから

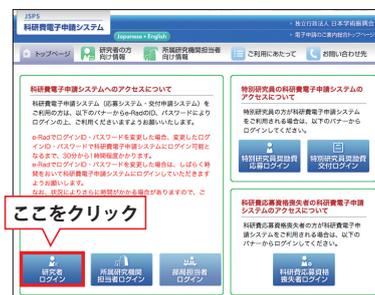
POINT 05
公募要領を
熟読する

公募要領は毎年改訂されます。とりわけ、2018年度は、科研費改革の目玉の年として審査システムが大幅に見直され、若手研究や特別推進研究の見直しも予定されています。公募される研究種目、審査分野、スケジュール、応募書類等の正確な情報を必ず確認するようにしてください。

POINT 06
応募資格を
確認する

立命館大学では、職位に応じて科研費の応募を認めております。詳細は、研究部HPに掲載される応募資格表にて確認してください(2017年9月および2018年3月に更新予定)。

●日本学術振興会 HP
電子申請システムトップページ



<http://www.shinsei.jsp.go.jp/kaken/index.html>

POINT 07
科研費電子申請
システムの
ID・パスワードを
入手(確認)する

応募は、科研費電子申請システムにアクセスして申請する仕組みになっています。初めて応募する研究者は、事前にアクセスするためのID・パスワードの入手が必要です。所属キャンパスの各リサーチオフィスまでお申し出ください。
過去に応募したことのある場合は、引き続き同じID・パスワードでアクセスが可能です。パスワードの失念等の場合は、所属キャンパスの各リサーチオフィスまでご相談ください。

科研費電子申請システムを使うのは今回初めてID・パスワードを発行してもらうためにリサーチオフィスに問い合わせよう



**STEP
3**

応募書類 × リサーチオフィス を作成する を活用する

リサーチオフィスでは、科研費応募を全面的に応援いたします。

公募開始後の学内公募説明会の開催を皮切りに、提出いただく応募書類を作成記入要領等に基づく事務的な点検をおこなうことはもとより、過去に科研費等の採択実績が豊富な先生方、科研費審査委員の経験のある先生方で構成す

る科研費申請アドバイザーによるブラッシュアップ等の支援制度もリサーチオフィスごとに実施予定です。研究部HPへの情報掲載やメール配信等を通じて、科研費応募に関する重要な情報を積極的に発信してまいります。

科研費応募に関するご相談・ご質問があれば、所属キャンパスのリサーチオフィスまでお気軽にお尋ねください。

早く応募書類を作って、リサーチオフィスに相談に行こう！ブラッシュアップ制度も活用して多角的にアドバイスをもらおう！

所属キャンパス別の各リサーチオフィス科研費申請担当問い合わせ先

衣笠キャンパス・朱雀キャンパス
衣笠リサーチオフィス (修学館2階)
Tel : 075-465-8224
mail : shinseik@st.ritsume.ac.jp

びわこ・くさつキャンパス
BKCリサーチオフィス (防災システムリサーチセンター3階)
Tel : 077-561-2802
mail : b-kaken@st.ritsume.ac.jp

大阪いばらきキャンパス
OICリサーチオフィス (B棟5階)
Tel : 072-665-2570
mail:oiicro@st.ritsume.ac.jp

